



北本市  
令和3年11月  
北本市は市制50周年  
を迎えました

参考

## 北本市定例記者会見

令和4年5月27日（金）

1



## 令和4年第2回北本市議会定例会

招集日 令和4年6月3日（金）

議案 条例 4件

事件議決 3件

予算 2件

報告 5件

合計 14件

2



## 主な議案

- ・ 北本市税条例等の一部改正について
- ・ 令和4年度北本市一般会計補正予算（第1号及び第2号）について

3



## 令和4年度北本市一般会計補正予算（第1号）

補正予算規模 一般会計（第1号） 492,507千円

### 内容

- 1 住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業  
88,854千円
- 2 低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援  
特別給付金給付事業 111,688千円
- 3 新型コロナウイルスワクチン接種事業 291,965千円

4

## 低所得の子育て世帯に対する 子育て世帯生活支援給付金給付事業

### 市独自で5万円を加算

国からの措置に加え、本市独自加算として5万円を加え、対象児童一人当たり10万円の特別給付金を給付します。



#### ○対象者及び給付開始時期

- ①低所得のひとり親世帯 6月中に支給（申請不要）
- ②その他の低所得の子育て世帯 7月以降順次

○給付額 10万円

○補正予算額 111,688千円

5

## 令和4年度北本市一般会計補正予算（第2号）

補正予算規模 一般会計（第2号） 213,037千円

### 主な内容

新型コロナウイルス感染症対策関連事業	155,570千円
子どもの権利に関する条例関連事業	15,994千円

6

## 新型コロナウイルス感染症対策関連 主な事業

### 主な事業

キャッシュレス型消費活性化事業	100,901千円
体育センターにおける感染症対策	16,417千円
学校における感染症対策	14,400千円
避難所物品充実事業	5,032千円

総額155,570千円

7

## キャッシュレス型消費活性化事業（第3弾）

還元率30%  
キャッシュレス決済事業者も  
拡大します

新型コロナウイルスにより影響を受けた  
市内経済の活性化と、「新しい生活様式」  
に対応する非接触型の消費活性化事業を  
展開し、事業者にとっても安心安全な消費喚起事業を実施します。

これまでと同様に、北本市商工会が主催し、市が事業費を負担金として支出します。

○補正予算額 100,901千円



8



## 子どもの権利に関する条例を施行します

### 施行日

令和4年10月1日

### 概要

①子どもの権利の内容を明らかにする  
②子どもの権利を守るための仕組みを定めることで子どもの権利を保障  
①②により、全ての子どもが幸せな生活を送ることができる社会を実現することを目的としている。

### 内容

子どもが権利侵害を受けた時に救済する仕組みとして権利擁護委員を置く  
子どもの権利の普及啓発（イベントの開催、リーフレット作成）  
子どもの権利に関する行動計画の策定作業を開始

### 予算総額

15,994千円

9



## 北本市からのお知らせ



令和3年11月  
北本市は市制50周年を迎えました



10

## 「マーケットの学校」と「&green market」



今年度も引き続き、市民参加型ワークショップ「マーケットの学校」で北本市らしいマーケットのあり方を議論しながら、「&green market」で話し合いの内容を実践していきます。

今年度は、「マーケットの学校」は年3回、「&green market」は市役所芝生広場にて隔月1回、マーケットを開催します。

### マーケットの学校

初回：6月19日（日） 北本市役所 3-EF会議室  
それ以降は、8月・10月に開催予定

今年度は、北本市役所芝生広場を中心に、文化センターや近隣の公園、商店街など周辺エリアも視野に入れたマーケットについて考えていく予定です。

### &green market

次回：7月16日（土）予定 今後隔月開催 次々回9/17（土）予定

昨年度のマーケットの学校参加者を中心とした北本を楽しむマーケットとして地元野菜や地元野菜を使った店舗の出店、ワークショップ等を実施

11

## 【北本団地活性化プロジェクト】 北本団地まちの工作室「てと」がオープン



合同会社暮らしの編集室が北本市・UR 都市機構・㈱良品計画・㈱MUJIHOUSEと協働で行っている「北本団地活性化プロジェクト」における、2つ目のコミュニティ拠点となるまちの工作室「てと」が5月8日（日）にオープンしました。

北本団地まちの工作室「てと」は、商店街にある住宅付き店舗を活用した、シェアアトリエ&ギャラリーで、令和3年度に「ふるさと納税型クラウドファンディング」を実施。寄付者143名から、寄附金額2,023,000円を集め、整備が行われました。

5月8日（日）のグランドオープンには、プロジェクト関係者や寄附者も多数駆けつけ、ギャラリーの見学やワークショップを楽しんでいました。

今後は、シェアアトリエのメンバーとなる3人の女性ものづくり作家さんを中心に、ワークショップやものづくり教室などを開催するとともに、レンタルスペースとしてギャラリーの貸出も行う予定です。

12

## 報告 シンポジウム

### 地域循環共生圏 ～北本の里山と生物多様性～



地域循環共生圏は「ローカルSDGs」とも言われ、国の第5次環境基本計画の中で、国際連合のSDGsの考え方を取り入れたものとして提唱。昨年度から本市をフィールドとして取り組みが進められている中、5月22日（日）にシンポジウムを開催しました。

#### 【登壇者】

大正大学  
NPO法人オリザネット  
北本市観光協会 他

岩浅有記（いわさゆうき）准教授  
古谷愛子（ふるやあいこ）氏

本シンポジウムの様子は北本市公式Youtubeチャンネル「&green」にて公開中  
[https://www.youtube.com/watch?v=IEqj0Tp\\_GDk](https://www.youtube.com/watch?v=IEqj0Tp_GDk)

第1回（令和3年5月8日開催）の様子も公開中です。  
[https://www.youtube.com/watch?v=nF\\_khKURbeA](https://www.youtube.com/watch?v=nF_khKURbeA)

13

## 九都県市合同防災訓練



埼玉県との共催により九都県市合同防災訓練を実施します。今回の訓練は43回目ですが、北本市での実施は初めてで、最も大規模な訓練です。消防・自衛隊・警察の災害対策や、お子さまも楽しめる防災フェアを御用意しています。

**日時** 令和4年8月28日（日） 9:00～13:00

**会場** 北本総合公園、北本市体育センター

**訓練内容**

- ・ヘリ3機によるホイスト救助
- ・ヘリや車両の展示
- ・防災スタンプラリー
- ・トマトカレー、自衛隊カレー、武蔵丘短期大学栄養士のカレー炊出し訓練
- ・消防・自衛隊・警察による瓦礫救出
- ・捜索救助犬とのかくれんぼ対決
- ・グリコ、カインズ等による物販

14



& green  
kitamoto city, saitama

k i t a m o

## 令和4年度一般会計補正予算の概要

## 1 補正予算の規模

一般会計（1号）	492,507 千円(補正後累計)	22,818,917 千円)
一般会計（2号）	213,037 千円(補正後累計)	22,539,447 千円)

## 2 一般会計補正(第1号)の内容

## (歳出)

住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業	88,854 千円
低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金給付事業	111,688 千円
新型コロナウイルスワクチン接種事業	291,965 千円

## (歳入)

国庫支出金	446,388 千円
（新型コロナウイルスワクチン接種対策費負担金 外5件）	
繰入金（財政調整基金繰入金）	46,119 千円

## 3 一般会計補正(第2号)の内容

## (歳出)

## ○ 新型コロナウイルス感染症対策関連事業

避難所物品充実事業	5,032 千円
キャッシュレス型消費活性化事業	100,901 千円
生活困窮者に対する生活物資等支援事業	1,273 千円
生活困窮者への支援措置強化事業	6,421 千円
生活困窮者自立支援金支給事業	9,028 千円
学童保育室等利用料減免補助事業	517 千円
公立保育所オムツ施設内処理事業	392 千円
学校における感染症対策（需用費、備品購入費）	14,400 千円
文化センターにおける感染症対策（委託料）	1,189 千円
体育センターにおける感染症対策（委託料、工事請負費）	16,417 千円

## ○ 子育て支援の充実

民間保育所整備交付金事業	12,895 千円
--------------	-----------

## ○ 母子保健と子どもに関する医療の充実

HPVワクチン任意接種償還払い事業	2,550 千円
-------------------	----------

## ○ 学校教育の充実

小学校放送設備等修繕	1,282 千円
------------	----------

## ○ 平和と人権の尊重

子どもの権利擁護委員設置事業	9,450 千円
子どもの権利普及啓発事業	6,544 千円

## ○ 道路、上・下水道、河川の整備

道路拡幅による公有財産購入経費	1,780 千円
-----------------	----------

## ○ 効果的かつ効率的な行財政運営の推進

マイナンバーカード利用手続等端末貸借事業	246 千円
○ 人口減少に対応するためのリーディングプロジェクト	
屋外マーケット文化醸成事業	3,627 千円
○ その他	
国庫支出金返納金	19,093 千円
(歳入)	
国庫支出金(個人番号カード交付事務費補助金 外5件)	28,109 千円
県支出金(放課後児童クラブ等に係る新型コロナウイルス感染対策事業費補助金)	172 千円
繰入金(財政調整基金、ふるさと応援基金)	183,056 千円
市債	1,700 千円
(繰越明許費)	
新中央保育所整備事業	615,932 千円
(債務負担行為)	
子どもの権利に関する行動計画策定業務	8,217 千円
(地方債)	
変更 道路整備事業	1,700 千円

## 低所得の子育て世帯へ「子育て世帯生活支援特別給付金」 10万円を支給（北本市独自に5万円を加算）



新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、食費等の物価高騰等に直面する低所得の子育て世帯に対して、その実情を踏まえた生活の支援として、特別給付金を支給します。

本給付金は、国からの措置に加えて、特に昨今の原油価格や電気・ガス料金を含む物価高騰の影響を受けた生活者にきめ細やかに対応できるよう、**本市の独自加算として5万円を加え、児童一人当たり10万円を支給します。**

予算額

1億1,168万8千円

支給対象

- ① 児童扶養手当受給者等（低所得のひとり親世帯）
- ② ①以外の令和4年度分の住民税均等割が非課税の子育て世帯（その他低所得の子育て世帯）

※18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある児童（障害児の場合には20歳未満）

児童一人当たり

支給額

**5万円 + 5万円 = 10万円**  
(国の子育て世帯生活支援特別給付金) (北本市独自加算) (合計)

支給開始時期

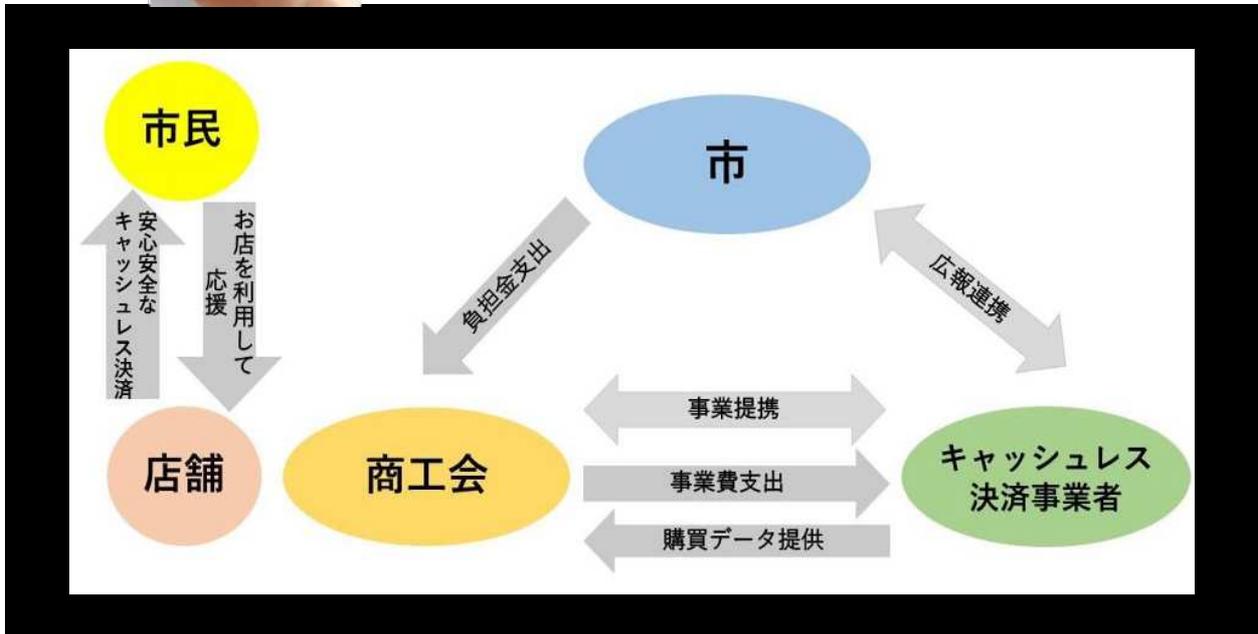
- ① **低所得のひとり親世帯**: 令和4年4月分の児童扶養手当受給者に対しては、6月中に支給（申請不要でプッシュ型で支給）
- ② **その他低所得の子育て世帯**: 7月以降、順次支給手続きを開始

ポイント  
還元率  
**30%**



## キャッシュレス型 消費活性化事業

～がんばれ北本！食べて！買って！応援しよう！  
キャンペーン第3弾～



新型コロナウイルス感染症や物価上昇の影響を受けている飲食店を中心とした市内事業者と市民の生活を支援するため、キャッシュレス型消費活性化事業の第3弾を実施します。

「新しい生活様式」に対応したキャッシュレス化を促進するとともに、非接触型の消費活性化を目指し、事業者には安心安全な個店支援による新たな顧客獲得を、市民にとっては消費喚起施策による「お得」を提供します。なお、本事業は北本市商工会が主催し、北本市は負担金支出により商工会を支援します。

### 事業内容

キャッシュレス決済を利用した飲食や買い物に対し、支払金額の**30%分**のポイントが還元されるキャンペーンを実施 ※キャッシュレス決済事業者は今後選定予定

### 補正予算額

100,901千円(うち90,000千円が還元付与分)

### 担当者コメント

キャッシュレス型の消費活性化事業も今回で第3弾となります。今回はキャッシュレス決済事業者を最大3社の参加を想定しています。いまだ新型コロナウイルス感染症の地域経済への影響や物価の上昇も続く中で、新しい生活様式に対応した消費支援策により、市内店舗を地域で支えることができるよう、取り組んでまいります。

# 北本市 kitamoto city

## 子どもの権利に関する条例を施行

令和4年3月に「北本市子どもの権利に関する条例」が北本市議会において議員立法で制定されました。これは、子どもの権利について、あらためて広く市民の皆さんに知っていただき、子どもの権利が侵害された場合は速やかに救済する体制を構築することを目的としています。

### 条例の概要

#### 【目的・内容】

次の①②により、全ての子どもが幸せな生活を送ることができる社会を実現することを目的としています。

- ① 子どもの権利の内容を明らかにする
- ② 子どもの権利を守るための仕組みを定めることで子どもの権利を保障

#### 【施行日】

10月1日

### 条例施行に向けた準備等

- ・子どもが権利侵害を受けた時に救済する仕組みとして権利擁護委員を置く
- ・子どもの権利の普及啓発（イベントの開催、リーフレット作成）
- ・子どもの権利に関する行動計画の策定作業を開始

### 主な予算

子どもの権利に関する相談・救済の申し立て関係	9,450 千円
子どもの権利に関するリーフレット作成	1,947 千円
子どもの権利に関する行動計画策定業務委託	3,597 千円

## マーケットから北本を考える 「マーケットの学校」と「&green market」



北本市では、人口減少の抑制・定住者の増加をめざし、東海大学河井教授の提唱する修正地域参画総量指標(地域への推奨・参加・感謝意欲指標)を正式なシティプロモーションの成果指標とし、「&green」というコンセプトのもと、各種シティプロモーション事業を行っています。その中で、修正地域参画総量を高める最適なコンテンツの一つとして「屋外の仮設マーケット」を据えています。

マーケットは、単なる売り買いの場だけでなく、まちの魅力を知れたり、創業支援の場となったり、地域で活動している人たちが繋がる場としての機能も有しており、まちを知る・好きになる・参加したくなるきっかけとなることから、令和2年度から市民参加型ワークショップ「マーケットの学校」、令和3年度からは市役所芝生広場で定期開催される小さなマーケット「&green market」を実施しています。

令和4年度は、奇数月の「&green market」の開催及び3回の「マーケットの学校」を開催します。

今年度のマーケットの学校では、北本市役所芝生広場を中心に、文化センターや近隣の公園や商店街など、周辺エリアも視野に入れたマーケットについて考えていく予定です。

日時  
・  
場所

### ▼マーケットの学校

初回:6/19(日)13:00~16:00@北本市役所 3-E・F 会議室

※第2回以降は8月・10月の土日に開催予定

市民参加型ワークショップを開催後、参加者のみなさんとマーケットを開催します。

### ▼&green market

5/15(日)、7/16(土)、9/17(土)、11/19(土)、1/21(土)、3/11(土)

@北本市役所芝生広場 ※開催時間は日によって異なる場合があります



### 担当者から一言

「マーケットの学校」は、講師・参加者・行政それぞれが、北本らしいマーケットのあり方やそれぞれがマーケットで実現したいことについて、真剣に議論を重ねる場であり、市役所芝生広場で開催される「&green market」は、「マーケットの学校」での話し合いの内容を実践する場となっています。2つのマーケット事業を通して北本市について考える機会としながら、市への愛着が高まるよう事業を進めます。



## 大型団地「北本団地」商店街の新たなコミュニティ拠点 北本団地まちの工作室『てと』がオープン

### 概要

合同会社暮らしの編集室が北本市・UR 都市機構・(株)良品計画・(株)MUJIHOUSE と協働で行っている「北本団地活性化プロジェクト」における、北本団地商店街2つ目のコミュニティ拠点がオープン。

本プロジェクトでは、令和2年11月より五者連携事業として、2,000戸を超える大型団地「北本団地」を舞台に、ワークショップやマーケット等を開催し、地域活性化の検討を行っています。

令和4年5月8日(日)、大型団地「北本団地」商店街に、まちの工作室『てと』がオープンしました。北本団地まちの工作室『てと』は、商店街にある住宅付き店舗を活用した、シェアアトリエ&ギャラリーです。

店舗の改装にあたっては、北本市と協働した「ふるさと納税型クラウドファンディング」プロジェクトを実施(実施期間:令和3年11月19日~令和4年2月16日、寄附者143名、寄附金額:2,023,000円※目標金額達成)し、シェアアトリエ&ギャラリーのオープン準備を進めてきました。

5月8日(日)のグランドオープンには、プロジェクト関係者やクラウドファンディングの寄附者も多数駆けつけ、ギャラリーの見学やワークショップを楽しんでいました。

今後は、シェアアトリエのメンバーとなる3人の女性ものづくり作家さんを中心に、ワークショップやものづくり教室などを開催し、北本団地商店街に新たな賑わいを生み出していきます。また、レンタルスペースとしてギャラリーの貸出も行う予定です。ものづくりを通して、北本団地地域のコミュニティ活性化を図ります。



▲ 5/8(日)オープン当日の『てと』の様子。

プロジェクト  
全体概要

【北本団地活性化プロジェクト】

北本市にある「北本団地」は、総戸数2,000戸を超える巨大な団地です。団地中心地には商店街があり、高齢化や少子化に伴い、商店街もシャッター街となっています。

北本団地活性化プロジェクトでは、北本市・暮らしの編集室・UR 都市機構・(株)良品計画・(株)MUJIHOUSE の5者連携事業として、地域資源の発見活用を通して、北本団地の活性化に取り組んでいます。

令和3年5月には、商店街にある住宅付き店舗を活用し、プロジェクトの活動拠点となるシェアハウス&シェアキッチン『中庭』をオープンしました。

オープンから今までに、ジャズ喫茶の運営や50回以上の音楽ライブ、福祉団体等と連携したイベントなどを開催しています。

この度オープンするまちの工作室『てと』は、シェアアトリエ&ギャラリーです。シェアアトリエのメンバーとなる3人の女性ものづくり作家さんを中心に、ワークショップやものづくり教室などを開催し、北本団地商店街に新たな賑わいを生み出していきます。

また、レンタルスペースとしてギャラリーの貸出も行う予定です。ものづくりを通して、北本団地地域のコミュニティ活性化を図ります。



▲ シェアアトリエメンバーの3人  
(左から) WOOLY 井上さん・horiee 宮下さん・  
Katan Koton 荒巻さん



▲ シェアハウス&シェアキッチン「中庭」  
でのジャズライブの様子

合同会社  
暮らしの編集室  
とは

「暮らしの中からまちに楽しみをつくりだす」をテーマに、令和元年6月より活動しているまちづくりのチームです。  
(令和2年4月に合同会社設立)

メンバーは観光協会職員、カメラマン、建築家など様々な背景を持つ、北本団地出身在住の若手メンバーが参加しています。



暮らしの編集室ホームページ  
<http://kitamotokurashi.com/>



報道関係各位

令和4年5月27日

# 北本市 kitamoto city

北本市役所 市長公室  
政策調査担当 益子、穴沢  
048-511-7700  
a02600@city.kitamoto.lg.jp

第2回

## 地域循環共生圏シンポジウム 「北本の里山と生物多様性」 市公式 YouTube チャンネルにて公開！



出典：環境省



シンポジウム当日の様子

### 概要

地域循環共生圏とは、「脱炭素」「資源循環」「生物多様性」を柱として、自然や住民・コミュニティ等の地域資源を最大限に活用することで、持続可能な社会を創っていく考え方です。昨年5月に開催したシンポジウムの第2弾として、「自然資源の活用による地域づくり」をテーマに有識者からの基調講演やパネルディスカッションを実施しました。

開催日：令和4年5月22日（日）13：00～17：00

会場：サンアメニティ北本キャンプフィールド

登壇者：大正大学 岩浅有記准教授、NPO 法人オリザネット 古谷愛子氏、北本市観光協会 他

配信案内 シンポジウムの様子は、北本市公式 YouTube チャンネル「&green」にて公開中

第2回 「北本の里山と生物多様性」

URL：[https://www.youtube.com/watch?v=IEqj0Tp\\_GDk](https://www.youtube.com/watch?v=IEqj0Tp_GDk)



第1回 「循環と共生のまち きたもと」 ※令和3年5月8日開催

URL：[https://www.youtube.com/watch?v=nF\\_khKURbeA](https://www.youtube.com/watch?v=nF_khKURbeA)



第1回も  
公開中

# 北本市 kitamoto city

県内最大規模

## 九都県市合同防災訓練を北本で開催



ヘリのホイスト救助



自衛隊等による瓦礫救出



捜索救助犬とのかくれんぼ



子ども消防士体験

### 九都県市合同防災訓練とは

九都県市(東京都・埼玉県・千葉県・神奈川県・横浜市・川崎市・千葉市・さいたま市・相模原市)が共同し、各会場で防災訓練を行うものです。首都直下地震や南海トラフ地震等による被害を最小限に食い止めることを目的とし、今回で43回目の開催となります。

北本市が、九都県市合同防災訓練の埼玉県会場となり、埼玉県と共催で防災訓練を実施します。北本での開催は初めてで、北本市で行ってきたなかでは最も大規模な訓練です。

今回は、主にお子さん連れのご家族を対象に、親子で楽しみながら訓練に参加できるような企画を多数ご用意しています。消防・自衛隊・警察、九都県市等が参加するほか、地域の自主防災会や地元小売店とも連携し、訓練後も地域で防災に関わり続ける仕掛けを行う予定です。



### ○訓練詳細 (変更となる場合があります)

日時

8月28日(日)9:00~13:00

会場

北本総合公園、北本市体育センター

訓練内容

- ・ヘリ3機によるホイスト救助
- ・消防・自衛隊・警察による瓦礫救出
- ・ヘリや車両の展示
- ・捜索救助犬とのかくれんぼ対決
- ・防災スタンプラリー
- ・グリコ、カインズ等による物販
- ・トマトカレー、自衛隊カレー、武蔵丘短期大学栄養士のカレー炊出し訓練

### 担当者コメント

防災訓練は楽しんで終わりになってしまうケースがよくあります。今回は、参加者が訓練を楽しんだ上で、実際に行動を起こしたくなるような仕掛けを御用意しています。過去最大の時間をかけて様々な団体と準備していますので、皆さんに有意義に感じていただけたと思います。